



## 町田市立国際版画美術館 展覧会図録

- ・掲載されている刊行物は、当館1階ミュージアムショップにてご購入いただけます。
- ・尚、掲載されていない刊行物は**完売**しております。
- ・通信販売は希望図録名を明記のうえ、現金書留で当館まで代金をお送りください。その際、図録代は現金、送料は切手をお願いいたします。現金書留の料金はお客様でご負担下さい。
- ・2冊以上お申し込みの場合の送料についてはお問い合わせ下さい。

NEW

明治から150年 浮世絵にみる 子どもたちの文明開化 展覧会 2017/10/7~11/23



浮世絵に描かれた子どもの姿に注目すると、その小さなからだを通して時代の空気を伝えてくれるものに数多く出会います。明治時代の浮世絵には、文明開化によって社会そのものが変化するなか、遊びにも学びにも、力いっぱい生きる子どもたちの姿が描かれています。

西洋の影響を受けて学校教育がはじまった明治初期、浮世絵には洋服を着て学校で学ぶ子どもたちが登場します。ここには、当時理想とされた子ども像が映し出されているといえるでしょう。英単語や西洋の偉人伝が記された浮世絵も制作され、世界へ目を向け立身出世を目指す少年少女の学習教材ともなりました。

一方で、まだ街の裏通りには江戸の香りが残っていた時代。明治半ばより江戸懐古の風潮が高まると、どこか懐かしく愛らしい着物姿の子どもたちが浮世絵にも戻ってきます。明治生まれの絵師、宮川春汀や山本昇雲らの作品には、江戸に花開いた遊びの文化を受け継ぐ子どもたちの姿が描かれています。さらに昔ながらのおもちゃ絵も引き続きつくり、いつの世も子どもたちの心をつかむ玩具であり続けました。

2018年は、日本が近代国家へ歩み始めた明治維新から、ちょうど150年を迎える節目の年にあたります。この展覧会では、明治の新風と江戸の面影のはざままで遊び学んだ子どもたちの姿を、当時の浮世絵を通して見つめなおします。＜子どもたちを描いた浮世絵＞のほか、未来への希望をのせた学校教材としての浮世絵や、夢を育むおもちゃ絵や物語絵など、＜子どものための浮世絵＞、約300点を展示します。明治の子どもたちの視覚世界がいかに色彩に溢れていたかをご覧ください。ともに、今も変わらない、成長を見守る大人たちの眼差しを感じていただければ幸いです。

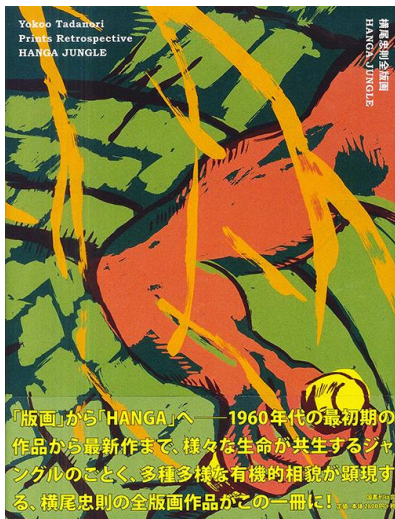
## 図録目次

文明開化と学校で激変した「子どもの天国」—中城正堯 / 浮世絵に描かれた母と子—絵師たちの文明開化—藤澤紫 / 図版 / コラム 明治初期の児童教育と教育錦絵—井上素子 / コラム 明治の子どもたちと図像・映像の視覚世界—おもちゃ絵・絵双六・幻灯—柿崎博孝 / 図版 / 明治の子どもたちにとっての浮世絵—村瀬可奈 / 明治子ども文化史年表 / 主要参考文献 / 出品目録 / 付録

## 図録体裁

■発行日：2017/10/7 ■頁数：216ページ(カラー176ページ) ■サイズ：B5変形判 ■重量：570g

図録価格 2,300円 送料 350円(切手でお願ひします)



横尾忠則（1936年生まれ）は、1960年代に、当時主流であったモダン・デザインの流れに抗い、日本の土着的なイメージを盛り込んだ総天然色のデザインのポスターやイラストを制作し、ファインアーティストのような新しいタイプのデザイナーとして表舞台に登場します。また、デザインの枠を超え、カウンターカルチャーの旗手として映画やテレビ番組、新聞や雑誌などのメディアで度々登場し、同時代文化を創造するキーパーソンとも注目されました。1960年代半ばより脚光を浴びた横尾は、1968年に版画の制作にも取り組み始めました。それ以後も版画制作を継続し、現在までに230点を超える作品を制作しています。本書では、版画の枠を超えているという意味から、それぞれの作品を「HANGA」と称しています。その制作は、デザイナーであった1970年代までは、「デザインのはみ出し部分」と位置づけられて行われました。その後、1980年にみた「ピカソ展」に衝撃を受けて画家へと転身してからは、「絵画的表現の一変種」という姿勢で取り組まれています。本書には、横尾忠則のHANGAの全てを6章に分けて収録しました。それにより、1960年代から今日まで継続して制作されてきたHANGAをとおして、横尾忠則の仕事のはば全容を概観することが出来ると思います。森羅万象が描かれたそれらのHANGAは、生物の共生によって多様で複雑な生態系が形成された「JUNGLE」のイメージを重ね合わせることでできます。さらに本書には、これまでにポスターに分類されてきた作品のうち、クライアントのいない作品、あるいは展覧会出品のために制作された作品などをポスターの形式を借りたHANGAと位置づけ、第VII章を設けてその代表作を掲載しています。それらこそHANGAのなかのHANGAと見なせるでしょう。このような章を加えることは、横尾忠則の印刷（刷り）作品の分野・領域について再考する機会となり、さらにコマースアートとファインアートをめぐる表現と歴史について客観的に考察する機会にもなったと考えます。HANGAを網羅的に収めた本書には、このような内容と課題が凝縮されています。

### 図録目次

版画、反画、汎画—横尾忠則の「HANGA」世界—榎木野衣 / 横尾忠則の版画—デザインのはみ出し部分から絵画的表現の一変種へ—滝沢恭司 / 横尾忠則 略歴 Tadanori Yokoo Profile / 主要パブリック・コレクション Selected Public Collection / 図版 / 横尾忠則 版画／HANGA関連年譜 / 横尾忠則 版画／HANGA関連文献ガイド / 作品リスト List of Works

### 図録体裁

■発行日：2017/4/22 ■頁数：264ページ(カラー208ページ) ■サイズ：A4変形判 ■重量：1300g

図録価格 3,000円 送料 560円 (切手でお願います)

[図録「横尾忠則全版画 HANGA JUNGLE」は、国書刊行会より一般書籍として販売しております。](#)  
[書店、オンラインショップ等でもお買い求め頂けます。詳しくは、国書刊行会HPよりご確認下さい。](#)